

鶴岡高専地域連携センターの活動をお知らせいたします「地域連携センターニュース」。今年もいち早くフレッシュな情報をお伝えできるよう、年2回発行いたします。今回の「地域連携センターニュース vol.7」では、平成29年度上半期の活動を中心にご紹介いたします。

## Topic1

### 地域連携センター長挨拶

本センターの目的は、「本校において蓄積した技術開発及び研究成果をベースに、地域企業との技術及び研究交流を推進して地域社会の発展に寄与するとともに、本校の教育研究の充実発展に資すること」となっています。すなわち、「地域社会・地域企業等と高専とのパイプ役」となることです。そのためには、鶴岡高専が有するシーズを地域の皆さんに知っていただくこと、地域のニーズを鶴岡高専の研究者・技術者が理解すること、この相互理解が地域連携の基礎であると考えます。そのために、鶴岡高専から地域の皆様へ絶え間なく情報発信していくと共に、地域の皆様からは鶴岡高専に自分の庭のようにお立ち寄りいただける環境作りを進めて参ります。

加えて、地域に貢献できる人材の育成・輩出にも努めてまいります。本校の学生や企業の技術者を対象とした科学技術講座、キャリア教育、そしてCO-OP教育等を、地域の皆様と協働し、実践していきたいと考えております。今後ともご指導、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



センター長 吉木 宏之

## Topic2

### イブニングセミナー第1・2回

鶴岡高専技術振興会と本校地域連携センターの共催のセミナーで、鶴岡メタボロームキャンパス大会議室において、鶴岡高専技術振興会会員企業及び地域企業の経営者・技術者に向けて、新規事業の創出、技術革新を目指した技術管理手法を提供し、講演後には、講師とのディスカッションを通して具体的手法の創出を目指す内容で開催しています。



#### <第1回> 8月25日(金)開催

山形大学 国際事業化研究センターの小野寺忠司センター長にお越しいただき、『破壊的なイノベーション』と題してご講演いただきました。NECでPCづくりをしてご活躍された経験や、現在の国際事業化研究センターの事業内容と、「破壊的なイノベーション」についてわかりやすくご説明いただきました。



#### <第2回> 10月19日(木)開催

山形大学大学院理工学研究科の古川英光教授から『3Dプリンターとソフトマター先端イノベーション』と題してご講演いただきました。「ゲル」についてのこれまでの研究成果や、現在行っている活動として、世界初の3Dゲルプリンターの開発・実用化や3Dプリンターによる食の創成、駅ファブ等の一般の方が使用できるものづくりスペースについてご紹介いただきました。

市民サロンとは、鶴岡高専技術振興会と本校地域連携センターが共催で開催し、本校と地域内研究機関等の研究者・技術者を講師に、各専門分野の最新情報をわかりやすく提供する市民講座です。今年度も各講座に多くの皆様からご参加いただきました。

### ＜第1講＞ 新たな視点で再発見！－庄内歴史探訪－ 8/30(水)開催

県立高等学校の校長をご経験された山田 陽介 氏から「西郷南洲と庄内～南洲の漢詩から～」と題し、西郷南洲（隆盛）と庄内の人々の交流が始まるきっかけや歴史的背景についてご講演いただき、その後、西郷南洲が遺した漢詩から、当時の交流の様子や気持ちをご説明いただきました。



本校からは、創造工学科 基盤教育グループの山田 充昭 准教授が「東北の自然環境を史料から読み取る～8,9世紀の征夷を中心～」と題し、蝦夷征伐の概説をした後、史料から読み取れる征伐の様相や当時の自然環境を読み解きました。

### ＜第2講＞ 新たな視点で再発見！－手軽にできる健康管理－ 9/28(木)開催



「食習慣と疾病予防～昭和の調査研究から～」と題し、山形県庄内総合支庁保健福祉環境部 医療監(兼)庄内保健所長 石川 仁 氏から、長寿村と短命村の食習慣の特徴について、また、食事パターンと死亡リスクの関連性などの研究成果についてご紹介いただきました。

本校からは、「現代社会に必要なプラトリーニング～日々酷使されている『目』のメンテナンス～」と題し、創造工学科 基盤教育グループ 本間 浩二 教授が、スマートフォンやパソコン等の使用による「目」の健康問題を取り上げ、簡単にできる目のトレーニング法を5つご紹介しました。



石川所長



本間教授

### ＜第3講＞ 新たな視点で再発見！－みんなで考えるこれからの働き方－ 10/25(水)開催

「女性の働き方・生き方のこれから～女性活躍と働き方改革～」と題し、山形県最上総合支庁 産業経済部地域産業経済課 産業振興主査 坂本 静香 氏に、女性活用について全国と比較した山形県の現状をご紹介いただき、社会で輝くことができずにいる「もったいない女性」が生まれる理由や家庭内の役割、自己を極端に低く評価してしまう「インポスター・シンドローム」についてお話いただきました。



坂本産業振興主査



薄葉准教授

本校からは、「東北における女性活躍の課題と展望」と題し、創造工学科 基盤教育グループの薄葉 祐子 准教授が、世界や日本の女性活躍推進と、事例を交えながらダイバーシティ経営戦略や雇用システムの問題等、これからの企業に求められる取り組みについて説明を行いました。

## Topic4

# CO-OP 教育

CO-OP教育とは、企業における中長期の就業や、企業と高専との共同研究を通じて総合的な就業能力を身に付けた学生を育成する共同教育プログラムです。



事前教育の様子

**CO-OP 事前教育** 本校の教員や各分野の技術職員らを講師とし、実際の就業を前に、図面の見方や工具の使い方、安全工学、電話応対演習などを学習する機会です。8月9日（水）に実施しました。



CO-OP 教育の様子

**CO-OP 教育** 8月14日（月）から9月29日（金）までの夏季休業中のおよそ2週間にわたり、学生11名（本科3年生3名、同4年生8名）が地元企業5社においてプログラムに参加しました。

学生はそれぞれの企業で、部品組立、プログラム開発、製品の機能評価や検査、5S活動\*等を実施しました。初めて使用するソフトや器材に臆することなく業務に取り組み、学校で習った知識と、企業で新しく得た知識とを融合することができました。

\*5S活動：整理、整頓、清潔、清掃、躰の略で、職場管理上徹底されるべき行動のこと

## Topic5

# 地域企業訪問研修

地域企業訪問研修とは、本校卒業生が企業技術者として活躍している地元企業を訪問し、懇談する機会を設け、実社会での企業人としての心構え等を研修させる取り組みです。鶴岡高専技術振興会と共催しています。

本年度は10月までに、県内5社の企業を訪問しました。会社概要説明や工場見学、鶴岡高専OB・OGとの懇談会が行われました。学生から多くの質問が寄せられ、地元企業について理解を深める非常に良い機会となりました。10月以降も、引き続き多くの企業への訪問研修を計画しておりますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

訪問日	訪問先企業
6月21日(水)	ティービーアール(株)
7月3日(月)	東北エプソン(株)
	(株)石井製作所
7月14日(金)	オリエンタルモーター(株)西事業所
10月20日(金)	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)山形テクノロジーセンター



加工機の説明を聞いている様子



懇談会の様子

## Topic6

# グローバルコミュニケーション塾



庄内工業技術振興会会長と  
本校 沼沢君

海外で活躍する地元企業を紹介し、若者の地元定着につなげることを目的に、企業技術者と学生が英語でコミュニケーションを図る取り組みです。庄内工業技術振興会と共同で企画し、初めての開催となりました。

4社の企業技術者5名と本校学生5名が、会社概要、部活動や学校生活について英語で発表しました。

およそ60名の保護者や学生が聴講し、地元就職しても海外で活躍できることを知る良い機会となりました。質疑応答も英語でなされ、語学力とコミュニケーション力の観点から、将来を見据えた良い学習の機会となりました。今後も、企業と高専が交流する場を設けてまいります。



発表者・本校関係者

## ●さかた産業フェア 2017 9/30 (土) ~10/1 (日)

酒田市体育館にて「さかた産業フェア 2017」が開催されました。本校からは、佐藤司研究室の「飛島を舞台にしたアイデアものづくり活動のパネルおよび制作物の紹介」と武市研究室の「銀ナノ粒子導電ペンでLチカ」を展出了しました。



## ●つるおか大産業まつり 2017 10/21 (土) ~22 (日)

鶴岡市小真木原公園 (朝陽武道館) で「つるおか大産業まつり 2017」が開催され、1日目は、小野寺研究室「特命! ロボットアームで奪取せよ!!」AMデザイン部 (和田研究室) 「未発見!? 3Dプリンタを用いた作品展」宍戸研究室「まるで魔法?! さわらずに動かす未来のUFOキャッチャー」を展出了し、2日目は、武市研究室「銀ナノ粒子導電ペンでLチカ」上條研究室「暗闇で光るオリジナルカラフル手形を作ろう!」教育研究技術支援センター「暗闇で光る! スライム」を展出了しました。



実施予定	イベント内容
11月7日 (火) 18:30~20:00	第46回産業技術フォーラム 場所: 酒田勤労者福祉センター研修室
11月13日 (月) 18:30~20:00	第3回イブニングセミナー 場所: 鶴岡メタボロームキャンパス大会議室
11月18日 (土) 10:00~18:15	K-ARC シンポジウム 2017 「農業情報学会」併催 「食・農エコシステム」のための「デジタル農業」×「国際認証」×「調理」 場所: 鶴岡メタボロームキャンパスレクチャーホール
12月14日 (木) 18:30~20:00	第47回産業技術フォーラム 場所: 庄内産業振興センター研修室 『デジタル社会における食・農エコシステム』 三重大学大学院生物資源学研究所 亀岡 孝治 教授

## ご案内

本校の教職員が出向き、講座を行う『出前講座』を受け付けております。企業の技術力向上にぜひお役立てください! また、学外組織や機関 (企業等) から、研究・技術開発上の相談に応じ、情報提供等を行う『技術相談』も随時受け付けております。技術的課題の解決や各種調査研究、学術情報の交換・提供など何でも結構です!

## ■出前講座 受付窓口■

鶴岡高専技術振興会事務局 ((公財) 庄内地域産業振興センター内)

HP/問合せフォーム [http://www.shonai-sansin.or.jp/tsuruokakousen\\_info/](http://www.shonai-sansin.or.jp/tsuruokakousen_info/)

## ■技術相談 受付窓口■

鶴岡工業高等専門学校 総務課 企画・連携係 (産学連携コーディネータ)

HP/申込書:

[http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/kyouiku\\_kenkyu/renkei/chiiiki/kenkyu-gijyutu/gijyutu/](http://www.tsuruoka-nct.ac.jp/kyouiku_kenkyu/renkei/chiiiki/kenkyu-gijyutu/gijyutu/)

編集・発行

## ■鶴岡高専地域連携センター

〒997-8511 鶴岡市井岡字沢田 104

Tel : 0235(25)9453

E-mail : [techno@tsuruoka-nct.ac.jp](mailto:techno@tsuruoka-nct.ac.jp)

## ■鶴岡高専技術振興会 ((公財) 庄内地域産業振興センター 内)

〒997-0015 鶴岡市末広町 3 番 1 号

Tel : 0235(23)2200

E-mail : [info@shonai-sansin.or.jp](mailto:info@shonai-sansin.or.jp)